独立行政法人国立高等専門学校機構

宇部工業高等専門学校

平成２２年度　環境報告書

平成２３年１１月

≡≡≡　目　　　次　≡≡≡

１　校長メッセージ……1
２　対象となる組織・範囲・期間……2
３　本校の概要……2
４　学習・教育目標……3
５　環境方針……3
６　中期目標・中期計画における環境配慮関連事項……3
７　中期計画・中期目標に対する取組の状況……4
８　環境マネジメントシステムの組織・体制及び環境目的・環境目標……4
９　法規則の遵守……5
１０　環境教育・研究の状況
①環境教育に関する状況……5
②環境に関する共同研究等の状況……6
１１　事業活動に伴う環境負荷及び低減に向けた取組
①光熱水の状況……6
②新エネルギー利用状況……7
③生ゴミ等の排出状況……7
④産業廃棄物の排出状況……7
⑤公用自動車の使用状況……8
⑥グリーン購入の状況……8
⑦環境目的・環境目標に対する行動計画の取組状況……9
１２　温室効果ガス（CO_2）の排出の状況……8
１３　その他学内の取組の状況
①エコフェア２０１０　ｉｎ　ＵＢＥへの出典……8
②構内清掃活動……9
③ごみ減量の活動……9
④省エネ対策……9
⑤施設の整備……１０
⑥毒・劇物の管理状況……１０
⑦教職員の通勤に関する状況……１０
１４　その他……１０
学校位置図……２８

【資料編】

○別紙１　建物一覧・建物配置図・・１２
○別紙２　環境方針・・・１３
○別紙３　宇部工業高等専門学校環境マネジメント組織・運用体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　　　　　宇部工業高等専門学校環境マネジメントシステムの役割と責任　・・・・・・・・・・・・１５
　　　　　「環境方針」を達成するための環境目的及び環境目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　　　　　「環境方針」を達成するための環境目的及び環境目標に基づく行動計画・・・・・１７
○別紙４　環境に関する共同研究等・・１８
○別紙５　水道光熱費の比較表
　　　　別紙５－１　　平成２１・２２年度　電気使用量の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
　　　　別紙５－２　　平成２１・２２年度　水道使用量の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
　　　　別紙５－３　　平成２１・２２年度　ガス使用量の比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
○別紙６　生ゴミ等の排出量・・２２
○別紙７　産業廃棄物の排出量・・２３
○別紙８　平成２１年度　環境目的及び環境目標に基づく行動計画に対する取組状況・・・２４
○別紙９　温室効果ガス（CO_2）の排出量比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

１　校長メッセージ

校長　福政　修

世界のエネルギー消費量が急激に増加し始めた２０世紀後半より，経済成長，エネルギー供給，地球環境の三者は互いに競合する関係にあり，トリレンマ問題と呼ばれてきました。経済成長，エネルギー供給と地球環境を調和させながら，世界人口が増加する中で持続的に発展を図ることが２１世紀に暮らす人類の大きな課題です。すなわち，地球温暖化に関わる環境問題は，異常気象や災害ばかりか，エネルギー供給，食料生産や水資源にも影響を及ぼすため，環境に優しい持続可能性に向けた低炭素社会への取組が求められています。

ところで，平成２３年３月１１日に発生した東日本大震災とそれに伴って発生した福島原子力発電所の事故による被害は甚大であり，国の総力を結集した復旧・復興が進められているところです。当たり前に感じていた“わが国のライフラインは安心で安全”との思いが音を立てて崩れました。私どもの自然に対する理解が未熟であることを思い知らされもしました。私どもの生活と環境は密接に関係しており，一度破壊されるとその回復には多大な労力と時間がかかります。いずれにせよ，放射性物質による汚染や電力制限の影響は大きく，この度の震災はエネルギーと環境の問題を私ども一人一人が見直す機会になったと思います。

国立高等専門学校機構（高専機構）においても，平成１８年２月に「高専機構環境方針」，平成２０年３月には「独立行政法人国立高等専門学校機構における温室効果ガス排出抑制等のための取組について（指針）」を制定し，具体的な内容と数値目標を定め環境対策を推進しています。本校も高専機構の一員として，持続可能な社会の構築，環境負荷の低減等への貢献のため，平成１８年度に「環境指針」を定め，これに基づき温室効果ガス排出削減等に向けて全校あげて努力しているところです。

本報告書は，平成２２年度における本校の環境保全に向けた取組について取り纏めたものです。省エネパトロールを随時行い，環境保全，資源の有効活用に関する自己点検や取組意識の向上を促すとともに，老朽化した設備の更新による高効率化・消費エネルギーの削減を推進してきました。これらの結果を，次年度の活動指針を策定するために役立て，本取組のさらなる推進を図る所存です。

終わりになりますが，地球環境保全に向けては，取り組むべき課題は数多くあります。本校では，高等教育機関として教育・研究活動を通じて地域社会と連携し，持続的発展・循環型社会の一翼を担う学際的な視野を持った中核的技術者の養成に努めてまいります。その一環として，平成２２年度以降入学の全学科の学生を対象に，新しい教養・導入教育を開始しました。環境・安全を共通のキーワードとする，マトリックス型基盤教育プログラムです。学生諸君の勉学意欲向上に繋がる動機づけ，技術者スピリットの醸成に役立つことを期待しています。

２　対象となる組織・範囲・期間

〇組　　織　　本　科（機械工学科，電気工学科，制御情報工学科，物質工学科，経営情報学科，
一般科）
専攻科（生産システム工学専攻，物質工学専攻，経営情報工学専攻）
図書館，情報処理センター，地域共同テクノセンター，技術室
福利厚生施設（学生会館，ものづくり工房，クラブハウス），課外活動施設
事務部（総務課，学生課），学生寮

〇対象範囲　　校舎地区，寄宿舎地区，運動場のすべて

〇期　　間　　平成２２年４月１日～平成２３年３月３１日

３　本校の概要

〇所　　在　　山口県宇部市常盤台２－１４－１

〇創　　立　　昭和３７年４月１日

〇土地面積　　校舎地区　35,295 ㎡　寄宿舎地区　13,024 ㎡
運動場　26,118 ㎡

〇建物面積　　校舎地区　建面積合計 10,606 ㎡　延面積合計 23,347 ㎡
寄宿舎地区　建面積合計 3,281 ㎡　延面積合計 9,133 ㎡
その他　建面積合計 255 ㎡　延面積合計 244 ㎡　（詳細は，別紙１）

〇教育組織　　本　科　機械工学科(40 名)，電気工学科(40 名)，制御情報工学科(40 名)，
物質工学科(40 名)，経営情報学科(40 名)　※(　)は入学定員
専攻科　生産システム工学専攻(12 名)，物質工学専攻(4 名)，
経営情報工学専攻(4 名)　※(　)は入学定員
その他　図書館，情報処理センター，地域共同テクノセンター，学生会館，
ものづくり工房，学生寮

〇教職員数　　校長，教授 29 名，准教授 34 名，講師 6 名，助教 6 名，助手 2 名，職員 46 名
（平成 23 年 4 月 1 日現在）

〇学生数　　機械工学科 203 名，電気工学科 210 名，制御情報工学科 210 名，物質工学科 215 名，
経営情報学科 202 名，合計 1,040 名　（平成 23 年 5 月 1 日現在）

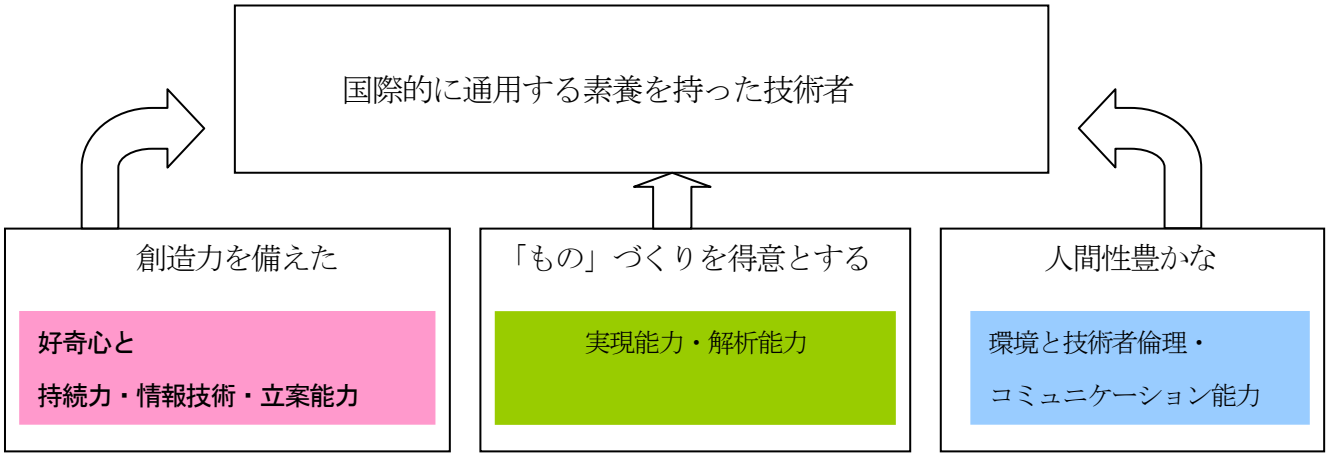
〇専攻科生数　　生産システム工学専攻 58 名，物質工学専攻 11 名，経営情報工学専攻 11 名，合計 80 名
（平成 23 年 5 月 1 日現在）

〇卒業者数　　本科生 179 名，専攻科生 35 名　（平成 22 年度）

４　学習・教育目標

本校は，「もの」づくりを得意とする技術者の養成を目指します。そのために本科では，人間倫理の涵養を最優先し，自然科学に関する基礎学力，語学力，情報処理能力を養うとともに，各学科では，それぞれ，機械工学，電気工学，制御情報工学，物質工学，経営情報学に関する技術的・実践的基礎能力を培います。

専攻科では，自然科学に関するより進んだ学力と上述した各専門分野の学問・技術に関わるさらに高度な能力を養成するとともに，これらを融合・複合して，事象・現象を複眼的視野で総合的に捉えることができる能力を養成します。



５　環境方針

環境方針は，別紙２のとおり，平成１８年５月に定めた。

６　中期目標・中期計画における環境配慮関連事項

① 環境負荷低減に関する目標として，地球環境保全のため，教育・研究活動において環境との共生を意識し，環境負荷の低減を推進することを掲げている。

② 地球環境を意識した技術者を育成するために，平成２２年度入学生より，全学科共通の総合科目として，環境・安全をキーワードとした横断的導入教育プログラムの実施に向けて，制度・組織の構築，試行を実施する。また，校内におけるゴミの散乱防止に対する教育面での指導を実施する。

③ ホームルーム，教員会議等で，省エネについて周知徹底する。

④ 平成２１年度に決定した清掃関係の行事を確実に実施する。効果については，平成２２年度末に評価を行い，平成２３年度に改善を行う。

⑤ グリーンカーテンの整備を行う

これらの他に，定期的な安全パトロールを実施し，既存施設・備品等の使用状況の確認を行うとともに，有効活用を促進する

7　中期計画・中期目標に対する取組の状況

① 学生への支援に関して，学生寮の入寮者の生活指導として，寮内外の美化を図り，ゴミ分別をきちんとさせることによって環境問題への意識を高めさせることとしている。

【取り組み状況】

構内の草取り，定期的に寮内外の清掃美化を実施した。

② 研究に関して，応用・開発研究に重点をおいた活動を展開する。その中で，環境保全関係（工業廃水・地下水の処理技術，水質浄化技術等）の応用・開発研究を更に推進する。

【取り組み状況】

環境問題に関わる研究においては，廃棄物の資源化・リサイクル技術，水環境改善技術，生活・産業排水処理技術の開発を地域企業と共同で開発するとともに，その成果を地域の行政（環境対策関連委員会委員等）・民間企業（環境関連技術指導）における環境保全対策のために活用している。

③ 経費の抑制及び資産管理の改善に関して，省エネ・コスト意識の徹底化を進め，管理的経費の抑制を図り，施設，備品等の有効活用を推進する。

具体的には，光熱水費の節減を徹底のための巡回・監視体制の確立，自動節電・節水装置の設置推進，学内を挙げた「省エネキャンペーン運動」等省エネ運動の実施，会議資料等のペーパーレス化の推進をする。

また，定期的な安全パトロールを実施し，既存施設・備品等の使用状況の確認を行うとともに，有効活用を促進する

【取り組み状況】

- 平成２２年７～９月と平成２２年１２～２３年２月に１２名で省エネパトロールを実施し，室内の不要照明のチェックやエアコンの温度設定状況等について巡回し，光熱水費の節減に取り組んだ。
- 省エネパトロールに併せ，パンフレットを構内の掲示板や教室に掲示しに省エネに対する意識高揚を実施した。
- 会議資料の省略については，引き続き，教員会議の資料を事前にメール配布するとともに，他の会議についても資料や議事録などをホームページに掲載することなど，具体的な検討を始めた。
- 椅子・机・ロッカー等の什器，パソコンモニター・プリンター等の備品について，再利用を呼びかけ，廃棄物品の減量に努めた。

8　環境マネジメントシステムの組織・体制及び環境目的・環境目標

別紙３のとおり，校長を総責任者として，全教職員及び学生で取り組むこととしている。

９　法規則遵守の状況

遵守した。

１０　環境教育・研究の状況

① 環境教育に関する状況

本科生については，社会科学関連科目において環境・エネルギー問題について教育を行っている。更に，物質工学科所属学生を中心に講義，演習，実験を通じて，環境関連の学習を行った。

専攻科生については，次の授業を開講した。

〇環境と社会

環境問題について，文明論的，社会学的，地球科学的な視点から講義をした。

〇技術者倫理

環境問題を企業に勤務する技術者の倫理の点から考える講義をした。

〇環境科学

地球規模の諸問題，日本における諸問題を，具体的事例を交えて講義した。

〇環境制御工学

水質汚濁について発生から機構，環境への影響，防止対策，処理技術，測定技術について講義をした。

〇教養化学

物質の構成や化学反応について学んだ後，環境問題について講義した。

本科については，次の授業を開講した。

〇現代社会

現代社会の特質，青年期の心理学等の身近で切実な問題の外，地球環境問題，資源・エネルギー問題或いは人口問題といった現代文明が直面する課題を講義した。

〇環境安全工学

環境問題，環境管理，廃棄物問題と循環型社会について講義した。

これらの他に，宇部高専では，導入教育の一環としてマトリックス型基盤教育を行っている。

この導入教育の一環として環境をテーマとして取り入れている。

技術と環境保全を基盤に本科生１年生全員に３回の授業を行った。

また，公害問題，宇部の大気汚染に対する取り組み，明治時代における環境問題解決の事例を学生に講義した。

宇部高専

環境や安全を重視

1―3年生対象 新プログラム 社会的責任担う技術者養成

宇部高専（福政修校長）は、今年度から一―三年生を対象に技術者としての倫理や意欲など精神面に注力した教育プログラムを導入する。専門課程が本格化する四年生への進級を前に環境や安全に配慮したものづくりに興味を持ってもらうのが狙い。公害を克服した宇部方式など地域の歴史も学ぶ。こうした取り組みは全国の高専でも珍しく、注目を集めている。

「マトリックス型基盤教育による技術者スピリットの醸成プログラム」で、物質工学、制御情報工学、電気工学、機械工学、経営情報の五科の縦割り型専門分野を横断する形で、導入する。

これまで全国的に高専の教育は、ロボットや自動車など先端技術志向が強かった。新プログラムでは、最新技術や利便性、利益だけでなく、環境保全や安全、経済性などの視点からものづくりをとらえ、社会的責任や倫理を守る、心ある技術者を養成する。

前期は手始めに物質工学科一年生を対象に六月から一回九十分の授業を、五回程度実施する。産学官民の宇部方式で公害を乗り越え、環境都市へと変容した宇部の歴史や、利用者や公益を重視した技術開発の大切さを学ぶ。後期は他科の一年にも実施する。

来年度から本格実施

来年度から本格実施する。常盤公園やアクトビレッジおのでの体験学習も予定。最終的には環境をテーマに各科が専門性を生かし、合同でものづくりをする計画。効果が確認できれば国立高専機構に提案したいとしている。

福政校長は「高専は五年かけてじっくり学べるメリットがあるが、大学入試がないため、入学後、のんびりしてしまう傾向がある。専門に入る前に進む道のやりがいや意義を再度、考えてもらうきっかけにしたい」と話した。（佐野）

5/28（金） 宇部日報（一）

マトリックス型基盤教育プログラム
関連記事【宇部日報】

② 環境に関する共同研究等の状況

環境に関する共同研究等については，別紙４のとおり，受託研究１件，共同研究１件，科学研究費補助金３件である。

１１ 事業活動に伴う環境負荷及び低減に向けた取組

① 光熱水の状況

本校は，教育研究の中心の場としての校舎地区（運動場・プールを含む。），学生の生活の場としての寄宿舎地区で構成されており，２２年度の使用量について，前年度と比較すると別紙５－１～３のとおりとなった。

光熱水の使用量に影響を与える天候等の要因について，前年度と同様，夏季は猛暑，冬季は降雪こそ少ないが，厳しい寒さは年度末まで続き，環境マネジメント委員会において定めた空調機使用期間を夏季，冬季共に延長するという状況であった。

○　電気使用量については，前年度比で，校舎地区 6.25%増，寄宿舎地区 5.63%増となった。

電気の使用量増加は，マスタープランや設備警備補助金による実験・実習機器が増加したが，年間の稼働時間からして，電気使用量の増加に膨大な影響を及ぼすとは考えられず，空調器の利用増大によるものと考えられる。

○　ガス使用量については，前年度比で，校舎地区 13.34%増，寄宿舎地区 12.02%増となった。校舎地区においては，単独のエアコンに加え，ＧＨＰによる冷暖房も行っているが，省エネパトロールの効果もむなしく増加傾向にあり，寄宿舎地区においても更なる節約の呼びかけの必要がある。

○　水道使用量については，前年度比で，校舎地区 19.45%増，寄宿舎地区 0.97%減となった。

校舎地区においてはかなりの増加があるため，更なる節水の呼びかけの必要がある。

光熱水道の使用量は，天候に大きく左右されるが，今後もなお一層の省エネに努める必要がある。

② 新エネルギー利用状況

平成１１年度に校舎地区に導入した太陽光発電設備は，定格出力４０kVA で，校舎地区の使用電力の一部を補っている。平成２２年度の発電量は，４５，６０２kwh であった。

③ 生ゴミ等の排出状況

本校の生ゴミ等は，契約を締結している有資格業者が運搬・処分しており，その大部分は宇部市環境保全センターへ搬出している。平成２２年度の処分量については，別紙６のとおり，平成２１年度比 33.70%増となった。増加分の大半は，植木の根が張り，通路のアスファルトを破壊するため，伐採したことによるものである。

④ 産業廃棄物の排出状況

本校の産業廃棄物は，契約を締結している有資格業者へ処分依頼した。２２年度の処分量については，別紙７のとおりである。

⑤　公用自動車の使用状況

ワゴン車２台，トラック１台，スクールバス１台を所有している。

ワゴン車２台については，来学者の送迎，各課の諸業務，教員の教育研究，地域社会との交流，県内教育機関との会議・打ち合わせ，学生課外活動等，頻繁に利用した。

トラックは，構内物品移動，実験資材の運搬，地域行事への参加等に利用した。利用頻度はワゴン車ほど高くないが，必要性は高い。

スクールバスは，宿泊研修，工場見学をはじめ，課外活動での遠征用として利用した。

また，市内における業務においてワゴン車２台がすでに使われているときや寄宿舎入寮者の急患などにはタクシーを借り上げた。

近年は，県内各中学校へ出向いての学校紹介，入試情報の提供等で使用回数が増える傾向にある。

⑥　グリーン購入の状況

グリーン購入に努め，概ね達成できた。

⑦　環境目的・環境目標に対する行動計画の取り組み状況

別紙８のとおりで，概ね達成できた。

１２　温室効果ガス（CO_2）の排出の状況

本校の温室効果ガス（CO_2）の排出は，電気，ガス（都市ガス），給湯ボイラー用のＡ重油，公用車のガソリン，軽油，冬季の暖房用としての灯油が該当し，２１年度と２２年度の排出量を比較した。

校舎地区においては，２１年度８７１トンに対し，２２年度は6.65%増加した。省エネパトロールや空調温度設定の徹底を促したにも関わらず排出量の増加傾向に終わった。

寄宿舎地区においても，２１年度５００トンに対し，２２年度は2.80%増加した。

学校全体としては，２１年度に１，３７１トンに対し，２２年度は5.32%の増加となった。（別紙９）

地球温暖化防止のために本校の温室効果ガス排出量を抑制が叫ばれている中，昨今の異常気象により，冷暖房の使用が増加傾向にあるが，新たなる対策を講じる必要がある。

なお，２２年度は，太陽光発電により４５，６０２kw 発電しており，温室効果ガス（CO_2）に換算すると25.309tco2 であり，本校全排出量の約1.75%に相当し，些少なから温室効果ガスの排出抑制ができた。

１３　その他学内の取組の状況

①　エコフェア２０１０　ｉｎ　ＵＢＥへの出典

１０月３１日(日）に，宇部市主催による「第１回 エコフェア２０１０ ｉｎ ＵＢＥ」が宇部市常盤公園で開催され，宇部市，山口県の環境に関わる３９の団体から各ブースで温暖化対策，自然エネルギーの利用，資源ごみの有効利用，電気自動車等幅広く出展があり，大学・高専・高校等の出展では，山口大学工学部，宇部高専，宇部工業高校が参加した。

本校からは，物質工学科福地賢治教授と中野陽一准教授の出展で，福地教授は燃料電池の原理と仕組みを３種類の学習用キット等で説明し，将来のエネルギー源として燃料エネルギーの重要性を強調し，また，中野准教授は，河口・海岸の生態系を守るためにアマモ場の重要性と，マイクロバブル（空気と水）のシャワーヘッドによる環境にやさしい洗浄効果を体感する実演をし，小学生や家族連れの多くの参加者に興味を持っていた。

本校物質工学科では，年間を通じて宇部市内の小学校・中学校に出前授業を企画していて，環境を重視した取り組みに力を入れている。

展示物を参加者に説明する様子

アマモ

② 構内清掃活動

構内の草刈り等について，学生課が８月に寄宿舎地区，総務課が８月に校舎地区をそれぞれ実施し，作業により出た剪定枝，草，ゴミ等は，廃棄物収集運搬業者を通じて，市の環境保全センターへ搬出した。

学寮では，一斉清掃を定期試験後に実施することにより，相当奇麗になったものの，寮棟により実施状況にバラつきがあるため，徹底するに当たり，棟長・指導員の意識を高める必要がある。

③ ごみ減量の活動

電子メールを利用した諸連絡，諸会議資料の両面印刷等に努め，紙の使用量を減らす努力を引き続き行った。また，再利用可能な備品等は，学内での再利用を呼びかけ，機器等の廃棄物減量に引き続き努めた。

（ロッカー，会議用テーブル，会議用椅子，パイプ椅子，プリンタ，リサイクルトナー等，）

④ 省エネ対策

教職員で構成する省エネパトロール隊を編成し，校舎地区の研究室，実験室を巡回し，不必要な部屋の空調・設定温度のチェック，昼休みの消灯・電源カット，不在時のこまめな電源カットを点検，指導し，省エネに努力した。

実施時期

平成２２年７月～９月，

平成２２年１２月～平成２３年２月

また，夏季に４日間の一斉休業を実施した。

その他の取組として，管理棟及び図書館棟にグリーンカーテンを設置した。

図書館棟グリーンカーテン

⑤　施設の整備

施設改修時に照明をＬＥＤに交換し，エアコン等の電気製品の更新時には，省エネタイプに取り換えた。

⑥　毒・劇物の管理状況

平成２２年６月と平成２３年２月の安全パトロール実施時に，毒・劇物の保管場所，保管方法等の管理の状況を点検した。

⑦　教職員の通勤に関する状況

本校は，宇部市中心部から幾分離れ，住宅地の広がる小高い丘に位置する。最寄りの駅は２㎞程度離れ，市内を走るバス路線は本校前を通っているものの便数が少ない。このため，片道通勤距離が２ｋｍ以上の教職員については，本人の申請に基づき審査の上，自家用車での通勤を許可している。

１４　その他

①環境報告書に関する問い合わせ先

宇部工業高等専門学校　総務課契約係

TEL：０８３６－３５－４９７１

E-mail：youdo@ube-k.ac.jp

②本校のホームページアドレス

http://www.ube-k.ac.jp

別紙　1

建物一覧

地　区	建物名称	構　造	建面積	延面積
校舎地区	管理棟	RC3	891㎡	2,512㎡
	機械電気棟	RC3	641㎡	1,947㎡
	一般科棟	RC3	667㎡	2,030㎡
	物質棟	RC4	1,088㎡	3,910㎡
	制御棟	RC4	238㎡	837㎡
	経営棟	RC4	427㎡	1,639㎡
	専攻科棟	RC4	498㎡	1,870㎡
	地域共同テクノセンター棟	RC2+S2+SS4	297㎡	977㎡
	実習工場	SS1	1,058㎡	963㎡
	機械実験棟	RC2+S2	600㎡	621㎡
	図書館棟	RC3	1,080㎡	2,491㎡
	バス車庫	CB1	54㎡	54㎡
	物品倉庫	CB1	129㎡	129㎡
	守衛所	CB1	17㎡	17㎡
	薬品室1	CB1	20㎡	20㎡
	薬品室2	RC1	32㎡	32㎡
	ものづくり工房	RC1	132㎡	132㎡
	第1体育館	SS1	1,003㎡	1,003㎡
	第2体育館	SS1	988㎡	988㎡
	武道場	RC1	297㎡	297㎡
	情報処理室	RC1	42㎡	42㎡
	学生会館・専攻科（経営情報工学専攻）	RC2+S2	394㎡	823㎡
	油庫	RC1	13㎡	13㎡
	小　計		10,606㎡	23,347㎡
寄宿舎地区	クラブハウス	RC3	180㎡	547㎡
	北東寮棟	RC4	217㎡	832㎡
	北寮棟	RC3	470㎡	1,381㎡
	管理棟	RC4	177㎡	694㎡
	新寮棟	RC4	783㎡	2,839㎡
	中寮棟	RC3	290㎡	866㎡
	南寮棟	RC3	290㎡	866㎡
	食堂棟	RC+SS2	556㎡	790㎡
	浴場棟	RC1	180㎡	180㎡
	ボイラー棟	RC1	108㎡	108㎡
	物品倉庫	CB1	30㎡	30㎡
	小　計		3,281㎡	9,133㎡
その他	屋外運動場付施設	CB1	168㎡	168㎡
	プール付属室	RC1	87㎡	76㎡
	小　計		255㎡	244㎡
合　計			14,142㎡	32,724㎡

建物配置図
Campus Map

❶管理棟　Adininistralinn Wing
❷一般棟　General Education Wing
❸物質棟　Chemicai and Biological Engineering Wing
❹機電棟　Mechanical/EIectrical Engineering Wing
❺情報処理室　Data Processing Center
❻実習工場　Training Shop
❼制御情報工学科棟　Intelligent System Engineering Wing
❽地域共同テクノセンター　Collaborative Research Center
❾機械工学実験棟　Machinery Test Wing
❿経営情報学科棟　Business Administration Wing
⓫専攻科棟　Advanced Course Wing
⓬第二体育館　No.2 Gymnasium
⓭テニスコート　Tennis Court
⓮図書館棟　Library Wing
⓯学生会館・専攻科棟(経営情報工学専攻)
Student Union·Advanced Course Wing for Business Administration
⓰第一体育館　No.1 Gymnasium
⓱武道場　Martial Aits Center
⓲ものづくり工房　Manufacturing Workshop
⓳守衛所　Guard House
⓴外来者用駐車場　Parking for visitors
㉑教職員用駐車場　Staff carparking
㉒教職員用駐車場　Staff carparking
㉓教職員用駐車場　Staff carparking
㉔外来者用駐車場　Parking for visitors
㉕寮管理棟　Dormitory Administration Wing
㉖新寮　New Dormitory Wing
㉗中寮　Center Dormitory Wing
㉘南寮　South Dormitory Wing
㉙北寮　North Dormitory Wing
㉚クラブハウス　Club House
㉛北東寮　Northeast Dormitory Wing
㉜寮食堂棟　Dormitory Cafeteria Wing
㉝浴場棟　Bath Wing
㉞ボイラー室　Boiler Room
㉟屋外運動場付属施設
Facilities Attached to the Outdoor Sports Grounds
㊱プール付属室　Room Attached to the Swimming Pool
㊲水泳プール　Swimming Pool
㊳野球場　Baseball Ground
㊴ラグビーコート
サッカーコート
Rugby and Soccer Ground

別紙２

宇部工業高等専門学校の環境方針

１．基本理念

宇部工業高等専門学校は，地球環境問題が現在における最重要課題のひとつであると考えます。地球環境保全への貢献のためには，教育・研究を積極的に展開していくことが重要であり，地域環境との共生を柱とした環境との調和と環境負荷の低減に努めます。

２．基本方針

1. すべての活動によって発生する地球環境に対する負荷の低減と汚染の予防に努める。
2. 地域社会との連携による環境保全活動に積極的に参画するとともに環境保全技術に関する教育・研究の実践を進める。
3. すべての活動に係わる環境関連法規，条例，協定等を遵守する。
4. この環境方針を達成するため，環境目的及び目標を設定し，教職員及び学生が協力してこれらの達成に努める。
5. 環境マネジメント組織を確立し，環境目的及び目標の定期的な見直しと継続的な改善を実施する。

本校は，この環境方針を全教職員及び全学生に周知するとともに，
公式ホームページを用いて一般の人に開示します。

平成 18 年 5 月 9 日
宇部工業高等専門学校

別紙3

宇部工業高等専門学校環境マネジメント組織・運用体制

本校の環境方針に基づく環境目的・目標を達成するための運用体制は次のとおりとする
各担当部署は、役割及び責任を認識し、積極的に環境問題に取り組まなければならない

各部門環境責任者	
総務課部門環境責任者	総務課長
学生課部門環境責任者	学生課長
機械工学科部門環境責任者	学科長
電気工学科部門環境責任者	学科長
制御情報工学科部門環境責任者	学科長
物質工学科部門環境責任者	学科長
経営情報学科部門環境責任者	学科長
一般科文系部門環境	一般科文系科長
一般科理系部門環境責任者	一般科理系科長
専攻科部門環境責任者	専攻科長
図書館部門環境責任者	図書館長
情報処理センター部門環境責任者	情報処理センター長
地域共同テクノセンター部門環境責任者	地域共同テクノセンター長
技術室部門環境責任者	技術室長

宇部工業高等専門学校環境マネジメントシステムの役割と責任

校　長

・校長は、環境に配慮した事業活動を推進するための環境マネジメントシステムを円滑に運用する責任と権限を有する。
・環境方針・環境目的及び目標を決定する。
・環境マネジメント委員を指名する。
・環境マネジメントシステムの実施に必要な資源（人、専門知識、技術、資金）を確保する。

環境マネジメント委員会

・校長の諮問に応じて次のことを行う。
　環境方針に関すること。
　環境目的及び目標に関すること。
　環境目的及び目標の実施計画並びに達成状況の確認。
　環境報告書の作成及び公表に関すること。
　その他、環境関連法規等の遵守に関すること。

環境管理責任者（副校長）

・環境管理責任者は、環境マネジメントシステムを実施するための権限が付与される。
・環境管理責任者は、見直し及び改善のため、校長に環境マネジメントシステムの実施状況を報告する。

部門環境責任者

・部門環境責任者は、部門内の環境マネジメントシステムの実施について責任を有する。
・部門環境責任者は、見直し及び改善のため、環境管理責任者に意見を述べ又は提案することができる。

教職員及び学生

・教職員及び学生は、環境マネジメントシステムの実施に協力しなければならない。
・教職員及び学生は、見直し及び改善のため、部門環境責任者に意見を述べ又は提案することができる。

「宇部工業高等専門学校の環境方針」を達成するための環境目的及び環境目標

宇部工業高等専門学校は、地球環境問題が現在における最重要課題のひとつであることを認識したうえで、地球環境保全への貢献のため、教育・研究を積極的に展開していくとともに、地域環境との共生を柱とした環境との調和と環境負荷の低減につとめるため、次のとおり具体的な行動計画を定める。

区　分	環境目的	環境目標	行　動　内　容	責 任 者
高専の特徴を生かした環境教育・研究の促進	環境教育の推進	環境意識の向上	環境意識の啓蒙	環境管理責任者（副校長）
			各室週1回の清掃活動の実施	各部門環境責任者
			教室週1回の清掃活動の実施	教務主事
			構内一斉清掃の実施（春・秋）	教務主事
			環境関連事項を取り入れた授業実施の依頼	環境管理責任者（副校長）
			環境関連事項を取り入れた授業の実施	教務主事
	環境研究の推進	環境関連研究の実施	環境関連研究の実施	各部門環境責任者
			環境関連共同研究等の実施	
			研究成果の公表	
環境との調和と環境負荷の低減	無駄なエネルギー	省エネ活動の推進	省エネのPR活動等	総務課部門環境責任者
			省エネパトロール	総務課部門環境責任者
			省エネ機器への切り替え	各部門環境責任者
			夏季の一斉休業の実施	総務課部門環境責任者
			水道光熱使用実績の把握公表	総務課部門環境責任者
			[電気]	各部門環境責任者
			不使用時の消灯の徹底	
			電気機器の節電	
			空調運転の温度厳守	
			その他節電に必要な対策	
			[上下水道]	
			節水の徹底	
			漏水等の確認修理	
			その他節水に必要な対策	
			[ガス]	
			空調運転の温度厳守	
			その他節約に必要な対策	
	一般廃棄物の減量	ごみの分別の徹底	ごみ減量の推進	各部門環境責任者
			ごみの分別	各部門環境責任者
			ごみ減量と分別のPR活動	総務課部門環境責任者
			ごみの分別環境の整備	
			ごみの適正な処分	
			排出量の把握	
			不要になった物品の校内HP上への公開	
	産業廃棄物の排出量削減	排出状況、排出量の把握	排出状況、排出量の把握	総務課部門環境責任者
			産業廃棄物の適切な保管	各部門環境責任者
			排出手続きの法遵守	
			産業廃棄物処分の適正な処分	総務課部門環境責任者
	グリーン購入の取組推進	グリーン対象製品の購入	実績の調査	総務課部門環境責任者
	化学物質等の適正管理の維持	毒物・劇物及び高圧ガス等の適切な保管・管理	毒物・劇物及び高圧ガスの適切な保管	各部門環境責任者
			毒物・劇物及び高圧ガスの使用(保管)状況の把握	総務課部門環境責任者
			毒物・劇物及び高圧ガスの使用(保管)の監査	総務課部門環境責任者
地域との連携	社会貢献の推進	清掃活動等の実施	学外清掃活動等学生の自主的な活動の実施	学生主事

「宇部工業高等専門学校の環境方針」を達成するための環境目的及び環境目標に基づく行動計画

区　分	環境目的	環境目標	行　動　内　容	責 任 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高専の特徴を生かした環境教育・研究の促進	環境教育の推進	環境意識の向上	環境意識の啓蒙	環境管理責任者（副校長）	○											
			各室週1回の清掃活動の実施	各部門環境責任者	○											
			教室週1回の清掃活動の実施	教務主事	○											
			構内一斉清掃の実施（春・秋）	教務主事			○				○					
			環境関連事項を取り入れた授業実施の依頼	環境管理責任者（副校長）											○	
			環境関連事項を取り入れた授業の実施	教務主事	○											
	環境研究の推進	環境関連研究の実施	環境関連研究の実施	各部門環境責任者	○											
			環境関連共同研究等の実施		○											
			研究成果の公表		適宜											
環境との調和と環境負荷の低減	無駄なエネルギー	省エネ活動の推進	省エネのPR活動等	総務課部門環境責任者			○					○				
			省エネパトロール	総務課部門環境責任者				○					○			
			省エネ機器への切り替え	各部門環境責任者	○											
			夏季の一斉休業の実施	総務課部門環境責任者					○							
			水道光熱使用実績の把握公表	総務課部門環境責任者	適宜											
			[電気]	各部門環境責任者												
			不使用時の消灯の徹底		○											
			電気機器の節電		○											
			空調運転の温度厳守						○				○			
			その他節電に必要な対策		適宜											
			[上下水道]													
			節水の徹底		○											
			漏水等の確認修理		適宜											
			その他節水に必要な対策		適宜											
			[ガス]													
			空調運転の温度厳守		○											
			その他節約に必要な対策		適宜											
	一般廃棄物の減量	ごみの分別の徹底	ごみ減量の推進	各部門環境責任者	○											
			ごみの分別	各部門環境責任者	○											
			ごみ減量と分別のPR活動	総務課部門環境責任者	○											
			ごみの分別環境の整備		○						○					
			ごみの適正な処分		○											
			排出量の把握		○											
			不要になった物品の校内HP上への公開		適宜											
	産業廃棄物の排出量削減	排出状況、排出量の把握	排出状況、排出量の把握	総務課部門環境責任者	○											
			産業廃棄物の適切な保管	各部門環境責任者	○											
			排出手続きの法遵守		○											
			産業廃棄物処分の適正な処分	総務課部門環境責任者	○											
	グリーン購入の取	グリーン対象製品	実績の調査	総務課部門環境責任者												○
	化学物質等の適正管理の維持	毒物・劇物及び高圧ガス等の適切な保管・管理	毒物・劇物及び高圧ガスの適切な保管	各部門環境責任者	○											
			毒物・劇物及び高圧ガスの使用(保管)状況の	総務課部門環境責任者			○									
			毒物・劇物及び高圧ガスの使用(保管)の監査	総務課部門環境責任者			○									
地域との連携	社会貢献の推進	清掃活動等の実施	学外清掃活動等学生の自主的な活動の実施	学生主事	随時											

環境に関する共同研究等

共同研究・受託研究

共同・受託の別	相　　手　　方	研究担当者	研　　究　　題　　目	契約期間
受託研究	財団法人ちゅうごく産業創造センター	中野　陽一	液薄膜酸素供給方式による省エネルギー型高性能水質浄化システムの開発	22.9.21～23.3.31
共同研究	株式会社IHI	西野　順也	CO_2光還元触媒に関する研究	22.7.1～23.3.25

科学研究費補助金

研究種目	研　　究　　題　　目	研究担当者
基盤（C）	高酸素濃度生物法による余剰汚泥の減量化	山崎　博人
基盤（C）	亜・超臨界水を用いたIT工業廃水の処理技術の開発	竹内　正美
基盤（C）	アマモ種子供給でリンクした海域内の種母アマモ群落保全によるアマモ群落の間接的保全	中野　陽一

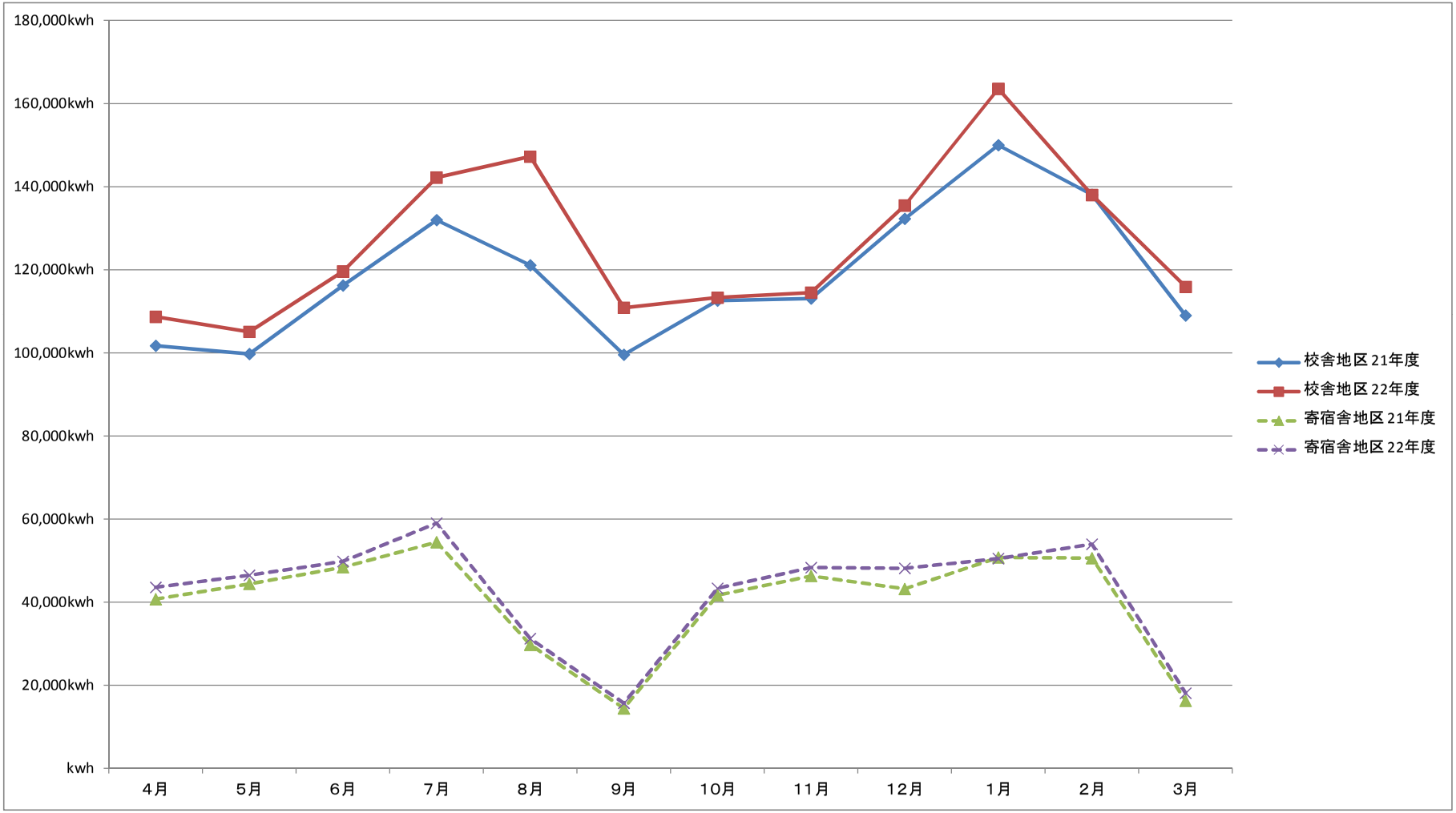
平成21-22年度　電気使用量の比較

（単位：kwh）

地区	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
校舎地区	21年度	101,712kwh	99,720kwh	116,232kwh	131,976kwh	121,104kwh	99,576kwh	112,584kwh	113,100kwh	132,288kwh	150,000kwh	138,036kwh	108,984kwh	1,425,312kwh
	22年度	108,684kwh	105,072kwh	119,604kwh	142,188kwh	147,228kwh	110,856kwh	113,292kwh	114,516kwh	135,480kwh	163,548kwh	138,000kwh	115,884kwh	1,514,352kwh
寄宿舎地区	21年度	40,740kwh	44,424kwh	48,434kwh	54,459kwh	29,762kwh	14,455kwh	41,704kwh	46,325kwh	43,202kwh	50,772kwh	50,611kwh	16,291kwh	481,179kwh
	22年度	43,565kwh	46,469kwh	49,828kwh	59,021kwh	31,253kwh	15,723kwh	43,335kwh	48,324kwh	48,180kwh	50,489kwh	53,978kwh	18,127kwh	508,292kwh

21年度比

校舎地区	106.85%	105.37%	102.90%	107.74%	121.57%	111.33%	100.63%	101.25%	102.41%	109.03%	99.97%	106.33%	106.25%
寄宿舎地区	106.93%	104.60%	102.88%	108.38%	105.01%	108.77%	103.91%	104.32%	111.52%	99.44%	106.65%	111.27%	105.63%



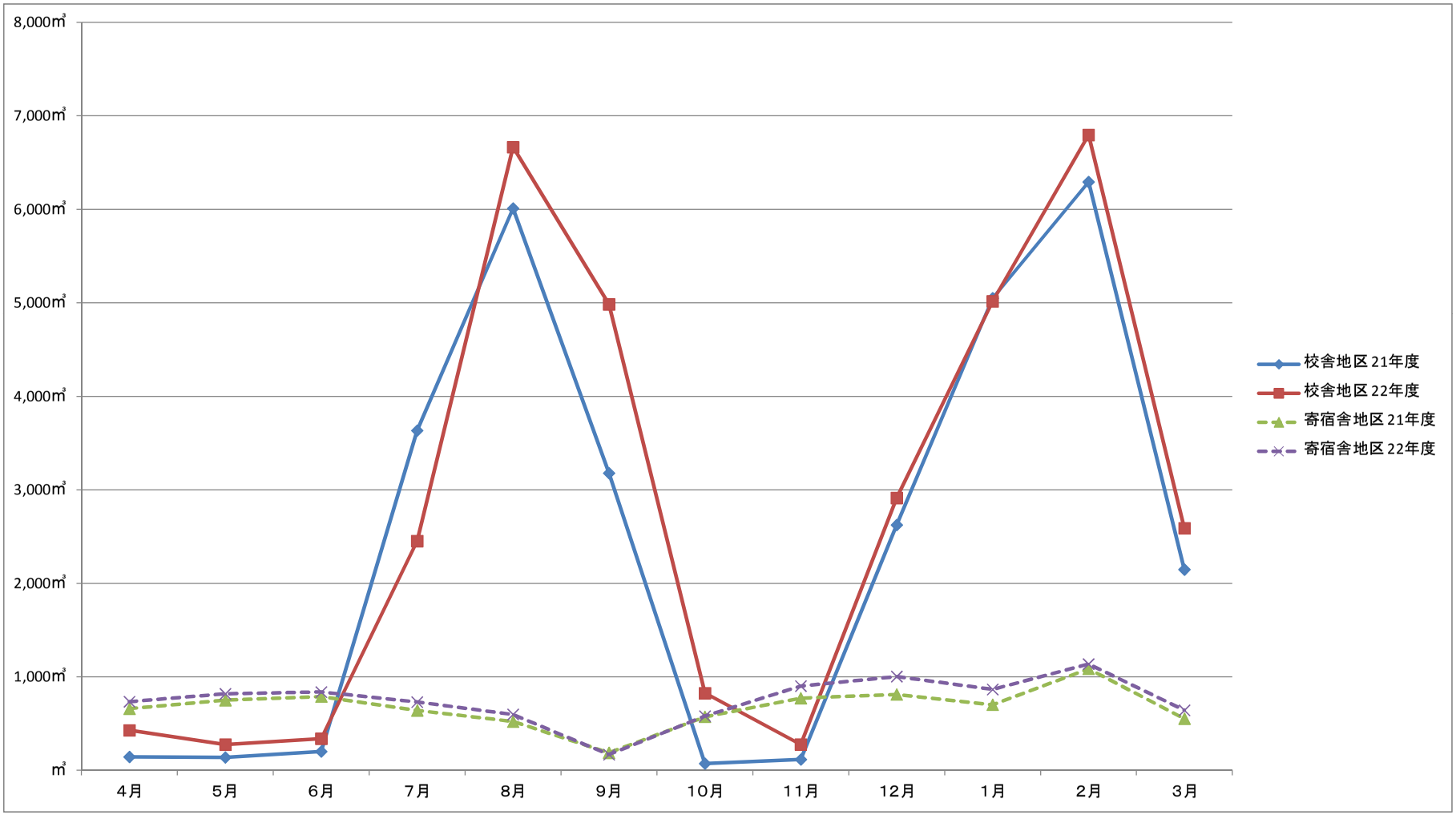
別紙5－1

平成21-22年度　ガス使用量の比較

地区	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
校舎地区	21年度	144㎥	138㎥	201㎥	3,635㎥	6,011㎥	3,178㎥	73㎥	116㎥	2,624㎥	5,050㎥	6,292㎥	2,148㎥	29,610㎥
	22年度	428㎥	275㎥	339㎥	2,452㎥	6,665㎥	4,984㎥	826㎥	277㎥	2,913㎥	5,017㎥	6,795㎥	2,590㎥	33,561㎥
寄宿舎地区	21年度	659㎥	750㎥	790㎥	641㎥	522㎥	188㎥	573㎥	772㎥	812㎥	702㎥	1,086㎥	553㎥	8,048㎥
	22年度	735㎥	818㎥	837㎥	730㎥	598㎥	168㎥	579㎥	902㎥	1,004㎥	866㎥	1,136㎥	642㎥	9,015㎥

21年度比

校舎地区	297.22%	199.28%	168.66%	67.46%	110.88%	156.83%	1131.51%	238.79%	111.01%	99.35%	107.99%	120.58%	113.34%
寄宿舎地区	111.53%	109.07%	105.95%	113.88%	114.56%	89.36%	101.05%	116.84%	123.65%	123.36%	104.60%	116.09%	112.02%



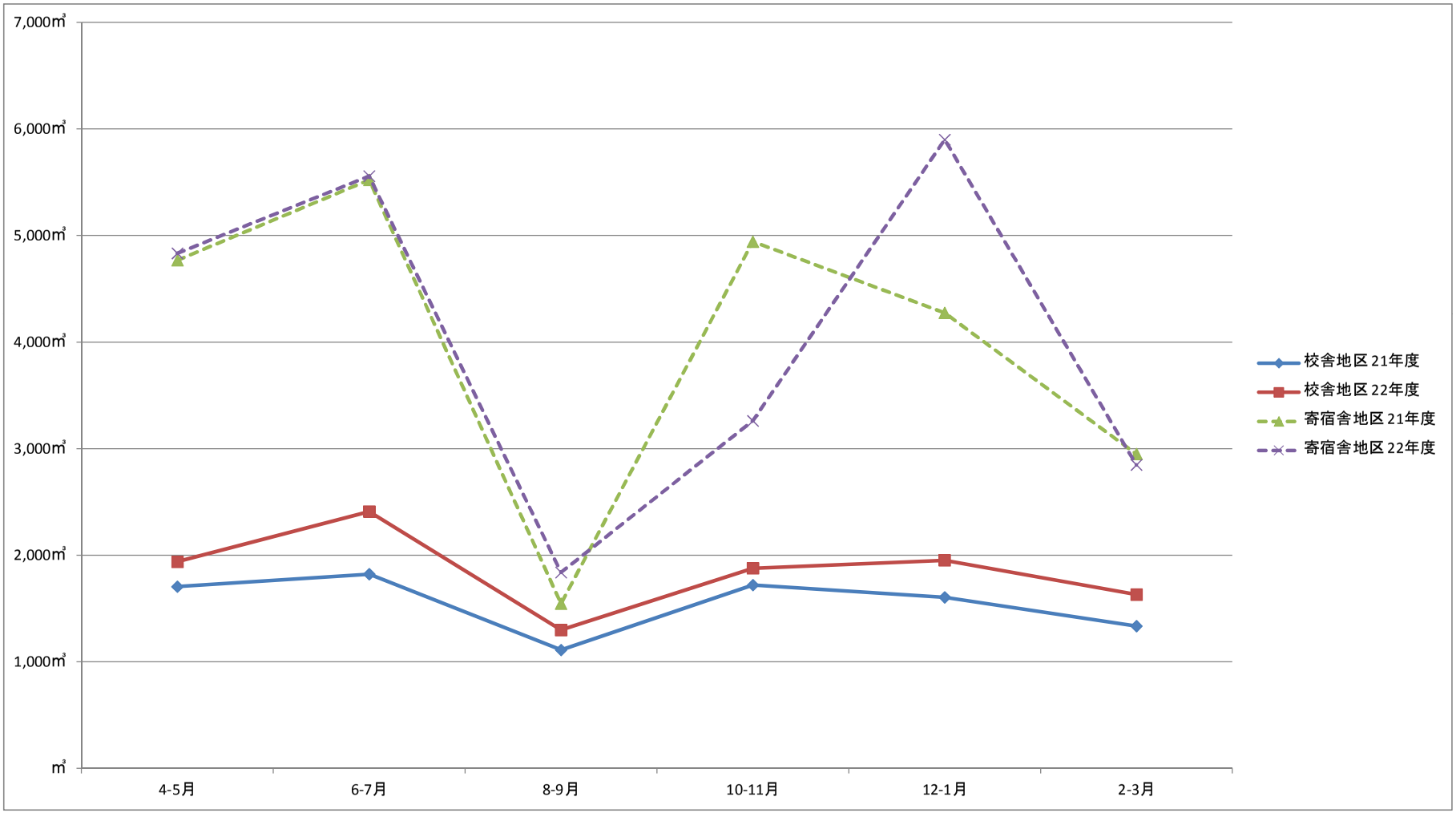
別紙5－2

平成21-22年度　水道使用量の比較

地区	年度	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月	計
校舎地区	21年度	1,705㎥	1,823㎥	1,111㎥	1,720㎥	1,606㎥	1,336㎥	9,301㎥
	22年度	1,939㎥	2,410㎥	1,299㎥	1,878㎥	1,953㎥	1,631㎥	11,110㎥
寄宿舎地区	21年度	4,768㎥	5,522㎥	1,546㎥	4,943㎥	4,274㎥	2,950㎥	24,003㎥
	22年度	4,833㎥	5,557㎥	1,839㎥	3,261㎥	5,899㎥	2,848㎥	24,237㎥

21年度比

校舎地区	113.72%	132.20%	116.92%	109.19%	121.61%	122.08%	119.45%
寄宿舎地区	101.36%	100.63%	118.95%	65.97%	138.02%	96.54%	100.97%



別紙5－3

別紙　6

生ゴミ等の排出量

排出品目	平成22年度　（平成22年4月～平成23年3月）			
	総排出量[kg／年] A＝B＋C	廃棄物として処理したもの 処理量B	資源化したもの 資源化量C	資源化率 C／A×100
1 段ボール	180kg		180kg	100.00%
2 その他古紙	900kg		900kg	100.00%
3 燃やせるごみ	19,800kg	19,800kg		0.00%
（上記のうち、厨芥類）				
4 木くず・剪定枝	360kg	360kg		0.00%
5 びん	1,620kg		1,620kg	100.00%
6 缶	1,620kg		1,620kg	100.00%
7 ペットボトル	780kg		780kg	100.00%
8 紙製容器包装	300kg	300kg		0.00%
9 プラ製容器包装	300kg	300kg		0.00%
10 蛍光灯・電池	180kg	180kg		0.00%
11 不燃物	1,200kg	1,200kg		0.00%
計	27,240kg	22,140kg	5,100kg	18.72%

排出品目	平成21年度比増減
1 段ボール	0kg
2 その他古紙	360kg
3 燃やせるごみ	9,720kg
（上記のうち、厨芥類）	
4 木くず・剪定枝	−900kg
5 びん	0kg
6 缶	0kg
7 ペットボトル	0kg
8 紙製容器包装	0kg
9 プラ製容器包装	0kg
10 蛍光灯・電池	0kg
11 不燃物	0kg
計	9,180kg

別紙 7

平成22年度　産業廃棄物の排出量

区分	排出量
木くず	2,690.000kg
金属くず	8,662.000kg
廃プラスチック	2,510.000kg
廃油	78.707kg
特別管理　廃油	179.460kg
汚泥	170.780kg
特別管理　汚泥(有害)	0.003kg
廃酸	928.000kg
特別管理　廃酸	24.500kg
特別管理　廃酸（有害）	20.000kg
廃アルカリ	72.500kg

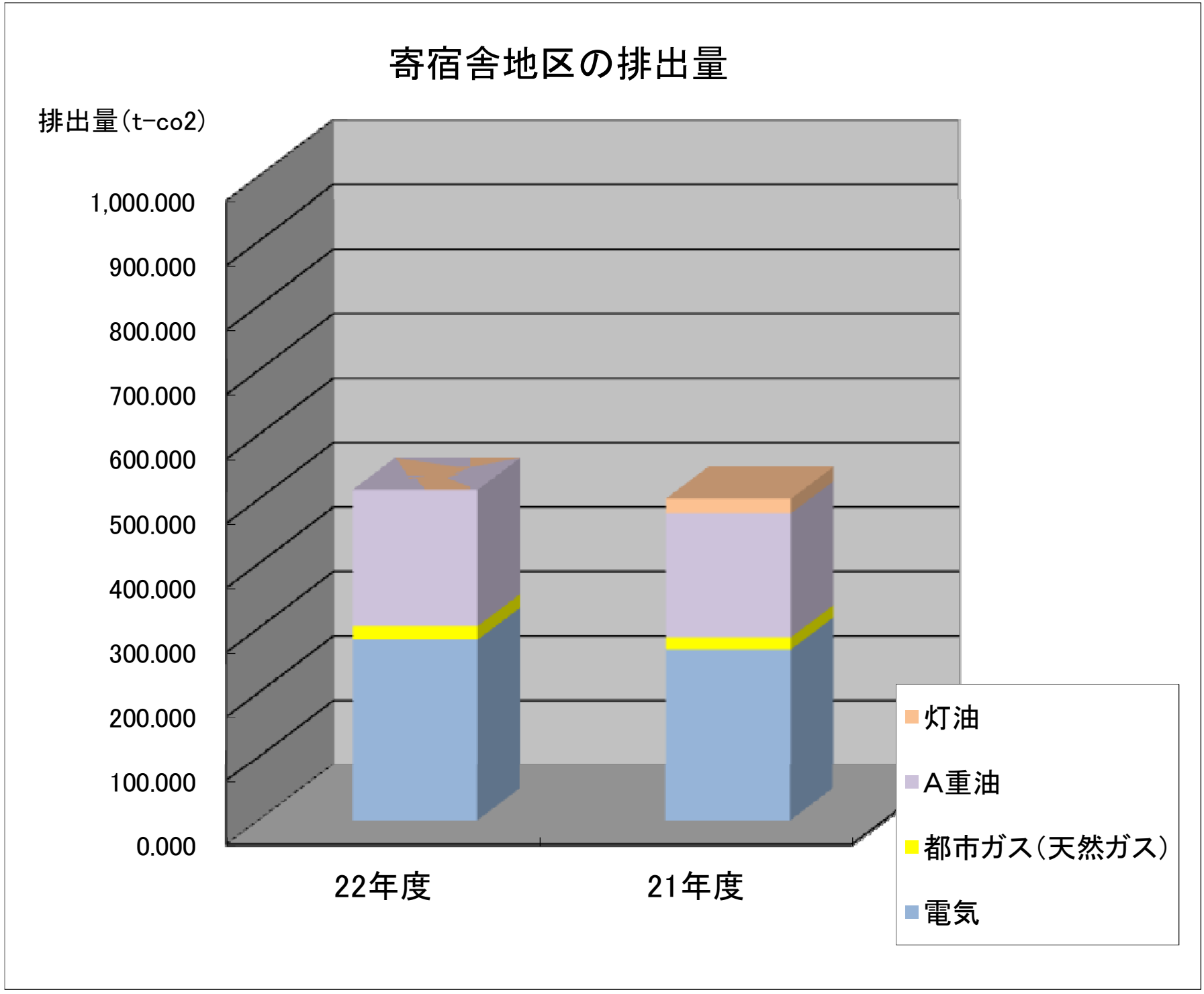
平成22年度　環境目的及び環境目標に基づく行動計画に対する取組状況調査

「宇部工業高等専門学校の環境方針」を達成するための環境目的及び環境目標に基づく行動計画																実施状況
区　分	環境目的	環境目標	行　動　内　容	責 任 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
高専の特徴を生かした環境教育・研究の促進	環境教育の推進	環境意識の向上	環境意識の啓蒙	環境管理責任者（副校長）	○												適宜行った。
			各室週1回の清掃活動の実施	各部門環境責任者	○												・卒研生による清掃を実施 ・実習工場では，実習終了時毎に各エリア別に清掃を実施 ・学生課では，早出勤務の者が毎朝実施
			教室週1回の清掃活動の実施	教務主事	○												定期的ではないが，実施された。
			構内一斉清掃の実施（春・秋）	教務主事			○				○						6月と10月に学生・教員による清掃，8月と10月に職員による清掃，草刈りを実施した。
			環境関連事項を取り入れた授業実施の依頼	環境管理責任者（副校長）											○		実施した。
			環境関連事項を取り入れた授業の実施	教務主事	○												実施した。
	環境研究の推進	環境関連研究の実施	環境関連研究の実施	各部門環境責任者	○												実施した。
			環境関連共同研究等の実施		○												実施した。
			研究成果の公表		適宜												適宜，実施した。
環境との調和と環境負荷の低減	無駄なエネルギー	省エネ活動の推進	省エネのPR活動等	総務課部門環境責任者			○					○					特に，省エネパトロールや安全パトロールの際に行った。
			省エネパトロール	総務課部門環境責任者									○				夏季，冬季に実施した。
			省エネ機器への切り替え	各部門環境責任者	○												適宜，実施した。
			夏季の一斉休業の実施	総務課部門環境責任者					○								実施した。
			水道光熱使用実績の把握公表	総務課部門環境責任者	適宜												環境報告書で公表予定。
			[電気]	各部門環境責任者													
			不使用時の消灯の徹底		○												・部屋の廊下側の照明は必要がない限り消灯 ・注意書き貼付で徹底を呼びかけた。 ・ほぼ実施されているが，照明のスイッチが不便な場所にしかない場合は徹底が難しい。 ・図書館では，閲覧時間以外は消灯している。 ・休み時間，室不使用時消灯 ・学生課は，窓口業務のため，消灯することは困難（部分消灯は実施）
			電気機器の節電		○												・PC不使用時は電源切断を心がけた。 ・使用時のみ電源ON ・こまめな電源offの励行
			空調運転の温度厳守					○			○						・注意書き・ポスター等を貼り，実施を徹底している。 ・集中管理されていない一部の部屋で守られていない。
			その他節電に必要な対策		適宜												・昼休み中，照明の不使用 ・学科内（本校内）にある電気ポットを魔法瓶式にすると電気代が節約出るが，実現できていない。 ・グリーンカーテンの設置

別紙8

			[上下水道]			
			節水の徹底		○	・手洗いに使用する程度で，特記事項なし ・注意書き・ポスター等を貼り，実施を徹底している。
			漏水等の確認修理		適宜	実施した。
			その他節水に必要な対策		適宜	・冷却水循環装置，アスピレーターの購入
			[ガス]			
			空調運転の温度厳守		○	厳守された。
			その他節約に必要な対策		適宜	・必ず元栓を締めるようにしている。 ・窓の二重サッシ化
環境との調和と環境負荷の低減	一般廃棄物の減量	ごみの分別の徹底	ごみ減量の推進	各部門環境責任者	○	・両面コピーを徹底。 ・会議資料の印刷数を減らしている。 ・書損した紙の裏面を利用 ・再利用できるものは再利用した。 ・アカウント毎の印刷出力制限を行っている部署もある。 ・廃棄予定図書は希望者を募り渡して，廃棄量を減らした。 ・図書館内は飲食物持ち込み禁止としている。 ・段ボール箱等は捨てずに再利用している。
			ごみの分別	各部門環境責任者	○	・指定ゴミ箱によって分別廃棄に心がけている。 ・「瓶･缶」，「ペットボトル」，「燃えるゴミ」は分類されている。 ・図書館では，閲覧室内のゴミ箱はペットボトル，ビン・かん，燃えるゴミに分けている。 ・実習工場では，金属材料別に分別
			ごみ減量と分別のPR活動	総務課部門環境責任者	○	適宜実施している。
			ごみの分別環境の整備		○	整備済
			ごみの適正な処分		○	資格を持った業者に処分を依頼した。
			排出量の把握		○	概ね，把握した。
			不要になった物品の校内HP上への公開		適宜	再利用可能と判断した物品について，メールにより，再利用を呼びかけ，再利用した。
	産業廃棄物の排出量削減	排出状況，排出量の把握	排出状況，排出量の把握	総務課部門環境責任者	○	概ね，把握した。
			産業廃棄物の適切な保管	各部門環境責任者	○	・一般廃棄物，廃液等を区分し，指定保管場所に保管している。 ・切りくず置き場に保管
			排出手続きの法遵守		○	概ね，遵守されていた。
			産業廃棄物処分の適正な処分	総務課部門環境責任者	○	資格を持った業者に処分を依頼した。

	グリーン購入の取組推進	グリーン対象製品の購入	実績の調査	総務課部門環境責任者												○	努力した。
	化学物質等の適正管理の維持	毒物・劇物及び高圧ガス等の適切な保管・管理	毒物・劇物及び高圧ガスの適切な保管	各部門環境責任者	○												・毒物は薬品庫内の金庫に保管し，使用時のみ持ち出した。劇物はカギの掛かる金属製の劇物保管庫に保管している。毒物と劇物は，残量が分かるように帳簿を付けていた。高圧ガスは床固定式の金属製ボンベスタンドに立てて使用 している。 　また，ガス集合装置特定自主点検も実施して いる。 ・ボンベ庫に保管，年1回ガス集合装置特定自主点検を実施
			毒物・劇物及び高圧ガスの使用(保管)状況の把握	総務課部門環境責任者			○										安全パトロールにより把握した。
			毒物・劇物及び高圧ガスの使用(保管)の監査	総務課部門環境責任者			○										安全パトロールの際に，状況を確認し，適正に使用，保管されていた。
地域との連携	社会貢献の推進	清掃活動等の実施	学外清掃活動等学生の自主的な活動の実施	学生主事	随時												定期的に学校行事として実施。


寄宿舎地区の排出量
排出量(t-co2)
1,000.000
900.000
800.000
700.000
600.000
500.000
400.000
300.000
200.000
100.000
0.000
22年度
21年度
灯油
A重油
都市ガス(天然ガス)
電気

学校位置図
Location Map

交通案内
Traffic Facilites

○宇部新川駅から宇部市営バス　風呂ヶ迫行、ひらき台又は開・萩原行（循環）に乗車して高専グランド前下車徒歩3分（所要時間約20分）
○新山口駅から車で約40分
○宇部駅から車で約30分
○山口宇部空港から車で約15分

○From Ube Shinkawa Station: take the Ube City Bus bound for Furogasako, Hirakidai, or Hiraki-Hagiwara (loop-line) and get off at the Kosen Ground Mae bus stop, 3 minutes on foot from the bus stop (20 minutes in total)
○From Shin-yamaguchi Station: 40 minutes by car
○From Ube Station: 30 minutes by car
○From Yamaguchi Ube Airport: 15 minutes by car

宇部工業高等専門学校
環境マネジメント委員会